

平成21年度 事業計画書

社団法人 日本アイソトープ協会

平成20年12月、公益法人制度改革関連3法が施行され、当協会は、特例民法法人となった。平成21年度は、新公益社団法人への移行を目指し、事業内容、運営組織を見直し、必要な準備を加速する。

「アイソトープ・放射線に関する利用技術の向上と普及啓発を推進し、アイソトープの安定供給を図るとともに、アイソトープの供給から回収・処理までの一貫した取り扱いを通じて公共の安全確保に努め、もって科学技術の振興と国民生活の向上に寄与する。」ため、平成21年度は下記に重点を置いて事業を行う。

調査研究事業においては、各部会による調査研究活動を通じて安全管理に留意しつつアイソトープ利用を推進する。特に、放射線取扱主任者部会は創立50周年にあたり、その活動を一層充実させる。研修事業を通じてアイソトープ・放射線の安全管理、安全取扱に習熟した人材の育成に努める。ICRPの翻訳刊行等の出版事業を通じて放射線防護の安全文化の醸成に貢献する。

アイソトープ事業については、頒布事業を通じ、必要な情報の収集に努め、もってアイソトープの安全取扱・利用技術の向上及び普及に資する。関係省庁に協力し、放射線源のセキュリティ対策を推進する。放射性医薬品については、講習会開催等を通じ、内用療法の推進を図りながら、SPECT、PET等を含む核医学診療の普及に努める。アイソトープ施設の立地計画については、引き続きアイソトープ利用の変化に対応できる施設・設備の設計及び用地取得等を進める。アイソトープ廃棄物処理施設の整備等については、引き続き計画の具体化を進める。アイソトープ廃棄物処分については、実施主体となる独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、情報提供を行う等、処分事業の推進に協力するとともに、処分の技術基準の策定、クリアランスの制度化などに向けて、積極的に関係機関と連携を図り実現に努める。

所期の目的を達した甲賀研究所については、経営改革の一環として事業譲渡を進める。

I 会員に関する事項

会員の拡大に努め、組織の充実強化を図る。

II 総会に関する事項

1. 第56回通常総会を開催し、次の議題等について審議する。

(1) 平成20年度事業報告書並びに決算書承認の件

(2) 平成21年度事業計画書並びに予算書承認の件

Ⅲ 役員会に関する事項

1. 第 145 回理事会

第 145 回理事会を開催し、次の議題等について審議する。

(1) 平成 20 年度事業報告書（案）並びに決算書（案）の件

2. 第 146 回理事会

第 146 回理事会を開催し、次の議題等について審議する。

(1) 平成 22 年度事業計画書（案）並びに予算書（案）の件

(2) 次期役員候補者推薦の件

(3) 特別会員の推薦の件

3. 常任役員会

常任役員会を開催し、理事会決議事項の執行に関して、適正かつ円滑な事業運営を図る。

Ⅳ 調査研究事業

1. 部会活動

(1) 理工学部会

① 理工学分野における利用促進

理工学分野におけるアイソトープ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。
(常任委員会)

② 「放射線防護用設備・機器ガイド 2010/11 年版」の発行

放射線施設における放射線防護用設備・機器の適切な使用に資するため、「放射線防護用設備・機器ガイド 2010/11 年版」発行の準備を進める。
(放射線防護機器専門委員会)

③ 超低レベル放射能測定技術の調査・検討

通常の放射線計測技術では測定が困難なあるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望をさぐるための調査・検討を引き続き行う。

(超低レベル放射能測定専門委員会)

④ 中性子イメージングに関する調査・検討

中性子ラジオグラフィの現状を認識し、その技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。また、「中性子イメージングの最新技術の展開（仮題）」の企画を進める。
(中性子イメージング専門委員会)

⑤ 講演会、見学会等の開催

R & I 講演会・見学会、サマースクール等を開催する。

⑥ アイソトープ・放射線実験の調査・検討

アイソトープ・放射線の教育・啓発のために、小・中・高の生徒や一般人を対象として行われているアイソトープ・放射線に関するいろいろな教育的実験を引き続き調査・検討し、Isotope News 誌に「RI・放射線一般向け教育実験ノート」として掲載する準備を進める。 (一般向け教育実験ワーキンググループ)

(2) ライフサイエンス部会

① ライフサイエンス分野における利用促進

ライフサイエンス分野におけるアイソトープ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。 (常任委員会)

② 部会活動活性化の推進

部会活動の見直しと活性化を図るための企画、立案を行う。 (企画専門委員会)

③ 安定同位元素の利用の検討

安定同位元素の利用技術について調査研究する。 (安定同位元素専門委員会)

④ 薬学・薬理学分野のアイソトープ利用の検討

薬学・薬理学研究分野におけるアイソトープ・放射線の利用を促進するための検討を行う。 (薬学・薬理学研究専門委員会)

⑤ 獣医療における核医学利用の調査・検討

獣医核医学及び獣医放射線学教育の現状について調査し、日本における獣医核医学の推進について調査・研究する。 (獣医核医学専門委員会)

⑥ 食品照射についての調査・検討

食品照射に関する内外の情報を収集し、調査・研究する。 (食品照射専門委員会)

⑦ 講演会の開催

アイソトープ利用講演会、見学会等を開催する。

(3) 医学・薬学部会

① 医学・薬学分野における利用促進

医学・薬学分野におけるアイソトープ・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。 (常任委員会)

- ② 部会活動活性化の推進
部会活動の見直しと活性化を図るための企画、立案を行う。(企画専門委員会)
- ③ 放射性医薬品の利用促進
放射性医薬品の利用促進と施設内の安全取扱に関し、調査研究する。
(放射性医薬品専門委員会)
- ④ 副作用事例調査の実施
放射性医薬品の安全性確保に資するため、アンケートにより「第34回副作用事例アンケート調査」を実施し、結果を公表する。
(放射性医薬品安全性専門委員会)
- ⑤ 核医学イメージングの規格化及び核医学検査技術向上等に関する検討
核医学イメージング及び核医学検査技術の向上に資するため調査研究する。
(核医学イメージング・検査技術専門委員会)
- ⑥ イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイの実施
イムノアッセイ検査の精度管理の向上に資するため、「第31回イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイ」を実施し、結果を公表する。
(インビトロテスト専門委員会)
- ⑦ ポジトロン放出超短半減期アイソトープの臨床利用の促進
ポジトロン放出超短半減期アイソトープの臨床利用を促進するための検討を行う。
(ポジトロン核医学利用専門委員会)
- ⑧ 医療放射線管理に関する検討
医療放射線管理上の諸問題について調査研究する。
(医療放射線管理専門委員会)
- ⑨ 放射線治療技術及び安全管理に関する検討
密封線源等による放射線治療技術及び安全管理について検討する。
(放射線治療専門委員会)
- ⑩ 放射性医薬品の臨床評価に関する検討
放射性医薬品の開発を推進するため、放射性医薬品の臨床評価のためのガイドライン作成に向けた検討を行う。
(放射性医薬品の臨床評価専門委員会)

- ⑪ アイソトープ内用療法にかかるガイドライン等の策定
アイソトープを用いる内用療法を効果的に推進するため、医療安全の確保を図る
適正使用のガイドライン等の作成に資する検討を行う。

(アイソトープ内用療法専門委員会)

⑫ 講習会の開催

「高線量率ラルス医療安全取扱講習会」「ヨウ素 125 シード線源による前立腺癌
永久挿入密封小線源治療の安全取扱講習会」「有痛性骨転移の疼痛治療における
塩化ストロンチウム-89 治療安全取扱講習会」「イットリウム-90 標識抗 CD20 抗
体を用いた放射線免疫療法の安全取扱講習会」等の講習会を開催する。

(4) 放射線取扱主任者部会

① 部会運営と支部間連絡調整

第 50 回部会総会を開催する。活動報告・活動計画の策定等を行い、部会委員会
の運営・支部間の連絡調整を図る。

(本部運営委員会)

② 部会総会等の企画並びに組織規定の整備

部会総会、研修会について企画する。

協会の開催する放射線取扱主任者定期講習の開催運営に協力する。

部会活動をより円滑に行うため、運営諸規定の整備を図る。

(企画委員会)

③ 情報の収集と広報

Isotope News「主任者コーナー」を充実させる。

部会員相互の交流を図るための広報活動を行う。

(広報委員会)

④ 法令の課題の検討

法令について、主任者の立場から諸問題を検討する。

(法令検討委員会)

⑤ 職種別・専門分野別分科会の設置・推進

職種別・専門分野別分科会及び研究会の設置・推進を図る。

⑥ 主任者試験問題の解答例作成

主任者試験問題の解答例をまとめ、Isotope News「主任者コーナー」に掲載する。

(試験問題解答例作成委員会)

⑦ 各支部において研修会、勉強会、法定の教育訓練講習会等を開催する。

⑧ アイソトープ事業所等からの依頼に基づき法定の教育訓練の講師を派遣する。

2. 研究発表会の開催

- (1) 第46回アイソトープ・放射線研究発表会を開催する。
(アイソトープ・放射線研究発表会運営委員会)

(2) CJK Congress

中国・日本・韓国の3つのアイソトープ協会が共催する CJK Congress の Working Group Meeting を東京で開催する。

3. 講習会の開催

(1) 下記の講習会を開催する

- ① 第1種放射線取扱主任者講習 [文部科学省登録資格講習]
- ② 第3種放射線取扱主任者講習 [文部科学省登録資格講習]
- ③ 放射線取扱主任者定期講習 [文部科学省登録定期講習]
- ④ 第1種作業環境測定士(放射性物質)講習 [厚生労働省登録講習]
- ⑤ アイソトープ基礎技術入門講習会
- ⑥ ラジオアイソトープ安全取扱講習会
- ⑦ 密封線源安全取扱講習会
- ⑧ 第1種主任者育成講習会
- ⑨ 第2種主任者育成講習会

- (2) 新規講習のあり方について検討をする。(講習会企画委員会)

4. 図書等の編集、発行、頒布等

(1) 機関誌

- ① Isotope News (広報誌) (Isotope News 編集委員会)
- ② RADIOISOTOPES (学術誌) (RADIOISOTOPES 編集委員会)

(2) 出版物

(イ) 放射線管理及び放射線取扱主任者試験受験用各種図書等

- ① アイソトープ法令集(Ⅰ)－放射線障害防止法関係法令－2009年版
- ② アイソトープ法令集(Ⅱ)－医療放射線防護関係法令－2009年版
- ③ アイソトープ法令集(Ⅲ)－労働安全衛生、輸送、その他関係法令－2009年版
- ④ 第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例
- ⑤ 第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例
- ⑥ 医療放射線管理の実践マニュアル(3版)
- ⑦ 放射線取扱の基礎－第1種放射線取扱主任者試験の要点(6版)
- ⑧ 密封線源の基礎－第2種・第3種放射線取扱主任者のために(5版)
- ⑨ 第1種放射線取扱主任者試験 課目別問題集、他

(ロ) ICRP 勧告の翻訳図書

- ① ICRP Publ. 102 MDCT での管理された患者線量 (仮題)
- ② ICRP Publ. 103 新基本勧告
- ③ ICRP Publ. 104 放射線防護のための管理措置の範囲 (仮題)

(出版企画委員会)

5. 普及啓発活動

- ① 「新しいアイソトープの利用等に関する作業グループ」において検討した、アイソトープの利用促進に関する問題点と、その解決に向けた方策・提案を報告書としてとりまとめる。
- ② RADIOISOTOPES 誌論文奨励賞表彰を実施する。
- ③ 原子力・放射線安全管理功労表彰を (財) 原子力安全技術センター及び (財) 日本分析センターとともに主催する。

6. 試験研究所等

(1) 仁科記念サイクロトロンセンター

- ① ポジトロン核医学及び P I X E 分析に関する全国共同利用を行い、研究成果を公表する。
- ② P I X E 分析の研究開発を行う。

(2) 武見記念館

R I の利用及び核医学等に関する展示の一般公開と啓発を行う。

V アイソトープ事業

1. アイソトープ (以下、アイソトープを「R I」と略す)

(1) R I の頒布

国内で利用される標識化合物、精製 R I 及び各種線源を輸入、加工、製造し、頒布する。製品の受注に際して使用者の法的要件を確認する等適正な利用を推進するとともに、使用者が満足できる R I 頒布における品質管理体制を適切に維持する。また、使用者等から利用に係る情報収集に努め、製造業者等と協力し利用の促進及び安定供給を図る。

使用者から回収した使用済み密封線源の適正保管及び海外線源製造所等への返却を進める。

(2) R I の安全取扱・利用技術の向上及び普及

使用者等からのR I 利用、取扱に関する相談に応じ、R I の安全取扱・利用技術の向上及び普及に資する。

計量法登録事業に基づく放射線量及び放射能標準を供給するとともに、放射線に係る各種校正・測定サービスを実施し、R I の適切な利用を促進する。

R I 輸送の安全性確保に資するため、R I 輸送関係者を対象とした実務に則した教育訓練講習会及び輸送連絡会を開催する。また、異常時にR I の取り扱いが必要となる警察、消防等の関係者を対象に、R I 利用の実態に即したR I 知識の普及・向上のための教育訓練に協力する。

(3) 安全性の向上とR I 施設の維持管理

関係省庁に協力し、国際情勢を考慮して、放射線源のセキュリティ及びテロ対策に協力するなど、国内の放射線安全に寄与する。

現有R I 施設・設備を適切に維持・管理するとともに、新R I 施設建設計画を推進する。

2. 放射性医薬品

(1) 放射性医薬品の頒布

全国の医療機関に対して放射性医薬品の安定供給に努める。受注に際しては使用者の法的要件を確認するなど、適正な利用を図る。

(2) 利用の促進

関係学会等への協力を通じて、核医学診療の普及に努め、放射性医薬品の利用に係る基盤拡大を図る。

- ① アイソトープ内用療法等の核医学に関する普及推進
- ② 医療法施行規則改正に基づいた医療放射線の安全管理に関する啓発
- ③ 獣医療法施行規則改正に伴う獣医核医学の実施のための頒布システムの整備
- ④ 放射性医薬品の原料の将来的確保
- ⑤ PET 核医学の推進（PET 核医学分科会及び臨床 PET 推進会議の運営サポート等）

(3) 情報提供等

情報提供、法律相談を通じて使用者の便宜を図るとともに、放射線管理の向上及び適正利用を推進する。

- ① 医療R I 通信
- ② 放射性医薬品流通統計
- ③ 放射性医薬品一覧表（診療報酬点数、薬価基準の情報を含む）
- ④ 電子メールまたはファックスによる緊急時一斉連絡
- ⑤ 協会ホームページ及びRIOS-Net ホームページにおける医療関連情報の提供
- ⑥ 放射性医薬品の安全輸送に係る教育・訓練の実施及び輸送ガイド改定

3. 環境整備

(1) R I 廃棄物の集荷

R I 使用施設等から発生するR I 廃棄物の集荷を実施する。

(2) R I 廃棄物の貯蔵

R I 廃棄物を適切に管理するとともに、貯蔵施設を合理的に運用するため、施設の統廃合を進める。

(3) R I 廃棄物の処理

集荷し、貯蔵したR I 廃棄物については、医療R I 廃棄物を滝沢研究所で処理する他、研究R I 廃棄物についても処分に向けた処理施設の整備を進める。

(4) 茅記念滝沢研究所

- ① 医療R I 廃棄物の貯蔵、減容処理及び保管を安全かつ適切に実行する。
- ② 医療R I 廃棄物のクリアランス及び処分へ向けて、廃棄物の性状調査を行う。
- ③ 土地の有効活用をはかるため、新規誘致事業の調査・検討を引き続き行う。

(5) R I 廃棄物クリアランスの推進

R I 廃棄物のクリアランス制度化に向けて、調査・検討を行う。

(6) 処分の推進

処分実施主体である独立行政法人日本原子力研究開発機構に対し、情報提供を行う等、処分事業の推進に協力する。

VI R I 施設の立地

本部R I 研究施設の移転計画については、引き続きR I 利用の変化に対応できる施設・設備の設計及び用地取得等を進める。

VII 事務局運営

事務局運営については、部門間の連携を強め、統括的で透明性の高い事業運営を図ると共に、不測の事態にも臨機応変に対応する体制を整える。